

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 84
R5. 1. 23
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

「天災は忘れた頃にやってくる」



真剣な表情で避難する子どもたち

1月17日は「防災とボランティアの日」でした。28年前に阪神・淡路大震災が起きた日で、防災活動やボランティア活動に対する認識を深めることを目的に制定されました。本校では19日に、学校近隣の火災発生時を想定した「第3回避難訓練」を行いました。子どもたちは避難の通報を聞き、放送の指示通り安全に、速やかに避難することができました。

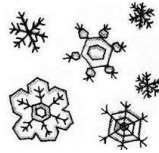
磐梯山が噴火したら、



噴火しそうになったらどうする?!

昨年末に、仙台管区気象台から磐梯山の火山活動状況に関する報道が相次ぎました。1月6日時点で火山活動が活発化する様子は認められないということですが、私は、『磐梯山 火山防災ハンドブック』（磐梯町ほから市町村発行）で、磐梯山が噴火した際の避難について調べてみました。その中には、融雪による火山泥流の事例など初めて知ることがあり大変勉強になりました。子どもたちには、「いざという時に備えて、家族で磐梯山が噴火した際にどうするかを家族で調べたり、話し合ったりするのもいいですね」と話しました。備えあれば憂いなしですね!

雪の結晶は、天から送られた手紙



「雪の結晶は、天から送られてきた手紙である」

こう言ったのは、1938年、北海道大学の中谷宇吉郎（物理学者）博士です。博士は、天から降ってくる雪を観察して、針状、角柱状、板状、平板角柱組合せ雲粒付、無定形、交差角板などの結晶の種類に分類したのです。結晶は、上層の気温や湿度によって違います。ですから雪の結晶の形や模様は、上層の気象条件を示す暗号だと言うのです。そこで暗号を解くために低温実験室をつくり、世界で初めて人工雪をつくることに成功したのです。

毎年降る雪に、会津ではうんざりしている人が多いと思います。そんな厳しい季節の中でも、空から舞い降りてくる雪の一粒一粒をそっと見つめて、自然の不思議さや美しさに思いを寄せてみるのもいいかもしれません。ちなみに私は冬の季節が結構好きです。それは、寒い分、色々な温もりを感じることができるからです。



先週のある朝、子どもたちと雪の結晶を観察してみました。

☆☆お知らせ☆☆

この度、日曹金属化学様 からデジタルタイマー一式をご寄贈いただきました。有効に活用させていただきます。

ご支援に感謝いたしますとともに保護者の皆様にお知らせいたします。ありがとうございます。

